

# 子育て支援施策に関係者の声を

国は、「子ども、子育て関連3法」を成立させ、2015年から子育て支援施策を転換しようとしています。「どう進めようとしているのか」について質問をしました。石川由美子育て支援課長は「国では、『子ども子育て会議』を設置して進めるが、主体となる市町村でも同様の会議を設置していくことが努力義務とされている。市町村がニーズ調査を行い、今年から来年夏くらいまでに事業計画を策定することになっていく」「県も同様に会議を設置して計画を策定する方向」と答えました。



私は、「ニーズ調査をしつかり行い、多くの関係者や現場の声を反映させてほしい、山形県の子育て支援が充実するようにならなければならない」と要望しました。

新制度は、認定子ども園普及などを含む事業となっており、保育関係者や保護者からは、今後の保育がどうなるのか不安だとの声も上がっています。それぞれの自治体で、父母や関係者の子育て支援施策に関する声をおおいに反映させていく必要があると思います。

県議会定例会の3月12日、厚生環境常任委員会で子育て支援の動向について取り上げました。

こんにちは

## 渡辺ゆり子

県社保協の県要請に同席するゆり子県議 3月4日

2013年4月14日  
-44号  
発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺 ゆり子  
＜連絡先＞  
県議会共産党執務室  
電話 023-630-3241(受付)  
自宅：山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365



### 健康長寿のための 県民運動大きく

厚生環境常任委員会では高齢者の問題についても取り上げました。3月9日の県高齢者大会が大きく成功したことに触れ、県が新年度から進めようとしている県民運動について質問しました。

大泉享子健康福祉部長は「高齢者などが安心して住み続けられる山形県作りに県、市町村、医療・福祉関係者、県民みんなが考え、進めていくため、県知事を長とする本部を設置することができるだけ元気に長寿で住み続けられるように、また介護や支援が必要となった場合の環境整備の2本立てでそれぞれ委員会を設け、部会などで検討することに

なると思う。行政だけではできないので多くの意見をいただき県民の方々の協力を得て進めていきたい」と答えました。

私は、「県民参加で大きな運動になるよう推進してほしい」と発言しました。



高齢者大会参加者

### 新年度スタート 県議会議所所属委員会変更

2月定例会最終日の3月19日、議長選挙をはじめ、議員役職や委員会の所属変更が行われました。私、渡辺ゆり子は2013年度(平成25年度)は  
**商工労働観光常任委員会**  
**中小企業振興対策特別委員会**  
 に所属することになりました。

4月18日19日には閉会中委員会が開催される予定です。また、6月定例会では予算特別委員会の質問に立つ見込みです。

みなさんの声、意見、要望をお寄せください。

### ゆり子の 視点

真室川町議選が3月24日投票で行われ、日本共産党の平野勝澄候補がみごと第2位で当選しました。

初めての日本共産党の議席で、山形市からの移住立候補でした。周囲も本人もびっくりするような支持の広がりです。それだけ住民の方々の期待が大きかったことを示すものに他なりません。住民のみならず、私の声を聞き行政に届け、福祉灯油を

現するなど、地道な活動展開が町民の心に届いたものと思えます。

私が応援に行ったのは21日で、吹雪の日でした。それでも訴えると耳を傾けて戸口で聴いている人の姿がありました。

政治に住民の声をまっすぐ届け、ともに実現のためにがんばるのは日本共産党の立党の精神です。

夏には、参院選があります。ここ山形から、国政の要求実現に向けてさまざま



真室川町議選2位当選を喜ぶ支持者の皆さん